

日本学術会議公開シンポジウム

安全な原子力であることの要件－福島原子力事故の教訓－

日 時：平成 26 年 3 月 5 日（水）13 時 30 分～17 時 40 分

入場無料・事前申し込み不要（定員 300 名）

場 所：日本学術会議講堂（東京都港区六本木 7-22-34）

主 催：日本学術会議総合工学委員会原子力事故対応分科会

開催趣旨：

東京電力福島第一原子力発電所事故は、総合技術としての原子力技術に重大な欠落があったことを顕在化させた。本シンポジウムにおいては、福島原子力事故で得られた教訓を生かすことの重要性に鑑み、今後、何らかの形で原子力を利用する場合に欠かすことのできない「安全な原子力であることの要件」について議論する。

第 1 部：司会/山地 憲治（日本学術会議第三部会員、公益財団法人地球環境産業技術研究機構（RITE）理事・研究所長）

13：30 主催者代表挨拶：

矢川 元基（日本学術会議連携会員、公益財団法人原子力安全研究協会理事長）

13：40 日本学術会議代表挨拶：

大西 隆（日本学術会議第三部会員・会長、東京大学名誉教授）

13：50 東日本大震災と福島原子力事故の発生：

澤田 隆（日本学術会議特任連携会員、一般社団法人日本原子力学会理事・事務局長）

14：10 発電用原子炉の開発と日本の取組み、顕在化した課題とその背景：

成合 英樹（日本学術会議特任連携会員、筑波大学名誉教授）

14：40 原子力安全に関する具体的課題：

関村 直人（日本学術会議連携会員、東京大学大学院工学系研究科教授）

15：00 放射線被ばくの現状と人体影響：

柴田 徳思（日本学術会議連携会員、公益社団法人日本アイソトープ協会常務理事）

15：20 原子力の安全とリスクの考え方：

松岡 猛（日本学術会議第三部会員、宇都宮大学非常勤講師）

15：40～16：00 休 憩

第 2 部：司会/矢川 元基

16：00 パネルディスカッション／安全な原子力であることの要件について

パネリスト：

岩田 修一（日本学術会議連携会員、事業構想大学院大学教授）

笹尾真実子（日本学術会議連携会員、東北大学大学院名誉教授、同志社大学研究開発推進機構嘱託研究員）

白鳥 正樹（日本学術会議連携会員、横浜国立大学名誉教授、同安心・安全の科学研究教育センター客員教授）

竹田 敏一（日本学術会議連携会員、福井大学附属国際原子力工学研究所特任教授）

宮野 廣（法政大学大学院客員教授）

山本 一良（日本学術会議連携会員、名古屋大学理事（教育・情報関係担当）・副総長）

17：30 まとめと閉会挨拶：

山地 憲治

問合せ先 シンポジウム担当 E-MAIL: sympo25122013@yahoo.co.jp